



◆ 顧問・関与先様各位 「ろーどニュース」 6月号を配信いたします。今月もよろしくお願い申し上げます。

3つのこだわり/富士山ビジネス合宿セミナー

おかげさまで多くの皆様よりエントリーを頂きました。2019事業も日本一の富士山の麓で「自律型リーダー」をテーマに受講者と共に全力で学び抜きたいと思えます。まだ若干の空きがございます。興味がある方はこちらよりエントリーください。https://office-road.jp/blog/1905/

今月は富士山ビジネス合宿セミナーの3つのこだわりについてご紹介いたします。

1つ目のこだわりは「テーマ」です。
テーマは「自律型リーダー」。これからの時代は何か起きてても、自分で生きていく「自律性」の確立が重要になります。



2つ目のこだわりは「対象」です。
本事業は入社3～5年目の社員様の参加をお勧めしています。基本が定着した方は、主体的な思考・行動が身に付きやすいです。



3つ目のこだわりは「開催時期」です。
富士山に登山できる期間（静岡県）である7/10～9/10の2か月間を自律型リーダーとしてのトレーニング期間に位置付けます。
静岡で働くビジネスマンは、見上げればそこに富士山が広がっています。富士山を見る度に学んだことを思い出し、自らを省みることができる静岡県ならではの富士山効果を狙っています。

SBSラジオ I P P Oに出演！

(株)静岡キャリアステーション様のパートナー講師として新入社員研修を担当していることもあり、最近の若い人との接し方についてアドバイスをしてほしいとのオファーを頂きました。「部下を持つ人必聴！部下の心に火をつけるは！」というテーマでお話をさせて頂きました。以下はお話のポイントです。

- ・ 部下の心に火をつけるためには、まず自分自身が燃えていなければならない。そのためには上司である私たちが実践を続けること。
- ・ 「近頃の若い社員は・・・」と言うが、人間自体はそれほど変わっていないのではないかと。ただし、インターネットの普及により外部環境は確実に変わっている。そのような環境下で強いチームをつくるためには、まずはリアルな信頼関係を構築すること。基本的なことだが笑顔と挨拶を強く意識して実践している。そして、仕事を願う際には、必ず目的や目標を伝えること。情報が溢れた社会だからこそ、きちんとした目的を伝えることで、部下・後輩が能動的に動くための動機付けに繋がると考えている。



第9回 今月の「働くみんなのおしゃべりナイト」

毎月第一水曜日に「遊び、学び、つながる。」をテーマに、フジノヤマカフェ（http://fujinoyamacafe.com/）にて、若手ビジネスマンが集まるイベントを開催しています。御好評を頂き、目標である50回に向けて邁進中です！



◇ゲストスピーカー

毎月参加者から1名。仕事やプライベートにおける活動の取組を発表して頂いております。

【今月のゲスト】

北川 裕一（きたがわ ゆういち）さん
清水銀行 由比支店 静岡市清水区出身
・ 銀行の役割～色々使えるんです！～
・ これからの時代の投資信託
・ 趣味の写真について



おしゃべりナイトでは、参加者が安心して楽しく語り合える場づくりに努めています。ご興味のある方、お気軽にお問い合わせください。https://office-road.jp/inquiry/

「致知」から学ぶ人間学/人生は進歩と退歩のみ

5月11日、致知出版社主催の社内木鶏会全国大会に参加しました。地道に致知を活用した社内木鶏会を続け、様々な苦難を乗り越えてきた会社の成功事例をお聴きし、涙をこらえることができませんでした。そして、その後の致知出版 藤尾社長の講演はまさに衝撃でした。一つひとつの言葉が胸に残りました。

「出会い平等。しかし、出逢いに成るかどうかは自分のレベル次第である。」

「人間、休息は寝ている時だけで十分。」

「知識は体当たりで実践して知恵にしなければ意味がない。」

中でも特に印象に残ったのは、「人生には進歩と退歩しかない」という言葉。私は以前から生き物は現状維持ができない特性をもっていると思っていました、なぜなら、自分が朝起きる昨日よりも今日の方が成長していきたいと思うからです。ですから、苦しいかもしれませんが、進歩を目指す。進歩を目指す辛いのですが、一歩乗り越えた時には幸せを実感できる。反対に現状のままでいたいと楽を選択した瞬間に、知らず知らずの内に退歩が始まる。そして楽であったはずが、いつのまにか苦しみが変わっていく。色々あった36年間の経験の中からその事実は学ぶことができました。当事務所の基本理念は、「今日も歩きたくなる道づくり」です。辛くても進歩。辛くても進歩。365日一歩でも良いから進歩を目指します。



第1回FUJI CIVICPRIDE 3776 挑戦者募集中！/一般社団法人F-design

私が在籍する一般社団法人F-designが主催する新事業をご紹介します！

本事業は株式会社田子の月様の富士山アタック隊が母体となっています。

田子の月様では、身近な日本一に挑戦し、山頂からの故郷の景色や登頂までの苦労を仲間と共有しようと10年間事業を継続されてきました。

今年からは一般社団法人F-designの主催とし、一般参加者を受け入れます。

対象は、本趣旨に賛同する富士を愛する39歳までの方（一般参加者は15名）です。

30名でチームを編成し「全員で富士山登頂」を合言葉とし、1泊2日での登頂を目指します。

富士山は「見るもの」という時代は終わりました。

令和からは「富士山は自ら登り感じるもの」という先人たちのCIVIC PRIDEを取り戻します。

ぜひ、今年の夏は共に3776を目指しましょう！

【詳細はこちらをご覧ください】 <https://f-design.or.jp/>



近々お子様が生まれる男性社員様はいますか？

国では、男性の育児休業取得率を2020年までに13%とする目標が掲げられており、厚生労働省では男性の育児休暇取得を推進しています。現在は5.14%（2017年度）です。

男性社員様が、お子様が生まれてから8週間以内に5日間の育児休業（無給または有給）を取得する場合、両立支援の助成金が支給されます。会社様も社員様も嬉しい助成金です。

【参考】

1人目の育児休業者 57万円（72万円）

2人目の育児休業者 14.25万円（18万円）

（ ）は生産性要件に該当する企業の場合

お気軽にご相談ください。受給手順のご案内をいたします。

<https://office-road.jp/inquiry/>

従業員様を正社員に転換する予定はありませんか？

「キャリアアップ助成金」とは、非正規雇用労働者のキャリアアップなどを応援する事業主に対して助成される制度です。その中の正社員化コースは、非正規雇用労働者を正規雇用労働者等に転換した場合に事業主に支払われる助成金です。

【例】1年の契約社員を正社員に転換させた場合

有期契約社員 → 正社員 1人当たり57万円

（生産性向上の要件を満たす場合72万円）

※受給のためには諸々の条件を満たす必要があります。

ここ1、2年で入社された20代、30代の若い契約社員・パート様がいて、「〇〇さんの将来のことを考えると正社員にしてあげたい！」そんな風に考えておられる事業主様にお勧めです。お気軽にご相談ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/part_haken/jigyounushi/career.html

ろーどの弦き/利己と利他の重なる場所

5月も富士・静岡エリアの企業の新入社員様を対象とした合同研修で仕事をさせて頂いております。

3か日間に渡り実施した科目の最後のまとめで、ある新入社員さんが「自分だけではなく、会社のため、社会のために働いていきたい。そして何より、目の前の一人のお客様を大切にしたい。」と発言しました。特に「目の前の一人のお客様を大切にしたい。」というフレーズの時には意志のようなものを感じました。言葉だけで捉えると、自分→会社→社会と段々と自分から遠いものを対象としていったのに、なぜ最後にまた自分の目の前のお客様に戻ってきたのだという違和感がとっさに頭をよぎりました。しかし、言葉だけではでない視線、ジェスチャー、声のトーン等の非言語的な情報を勘案し、その方にとって自分のため、会社のため、社会のためにできることは何か。その3方のためという重なった部分が「目の前のお客様を大切にする」という応えではなかったのかと、私なりに解釈をしました。

その日の夜、そのことが刺激となり、私の頭の中の利己と利他のイメージ図が変化することがわかりました。今までは右記のように利己はx、利他は○のように対極の存在として捉えていました。それが今回の経験を通して重なり合うものというイメージに変化しました。

利己とは「自己の利益を重視し、他者の利益を軽視、無視する考え方」

利他とは「自己の利益よりも、他者の利益を優先する考え方」

ではその重なった場所とは？私の応えは「あなたも私も幸せになれる考え方」

甘いと言われてしまうかもしれませんが、今の私は利己主義に陥らないよう、

この重なった場所でプレーすることがしっくりときます。

5月5日は恒例の富士塚例祭に参列、前職で共に働いた仲間が自然と集まったこと。

素直に嬉しかったです！

